

# 2017年3月期 第3四半期 決算実績 概況資料

2017年2月9日

株式会社西武ホールディングス（9024）

<http://www.seibuholdings.co.jp/>

# I. エグゼクティブ・サマリー

P2

II. 2017年3月期第3四半期までの  
主な取り組み

P6

III. セグメント情報及び営業指標

P9

IV. 決算実績詳細

P21

V. 2017年3月期 連結業績予想

P25

# 2017年3月期第3四半期 決算実績

	2016/3期 第3Q実績	2017/3期 第3Q実績	対前年同期 (増減額・率)	
営業収益	3,788	3,850	+61	+1.6%
営業利益	560	516	△44	△7.9%
償却前営業利益	860	848	△11	△1.4%
経常利益	504	486	△17	△3.5%
親会社株主に帰属する四半期純利益	198	412	+214	+107.8%

(金額単位：億円)

## 決算実績ポイント

### ■ 営業収益

ホテルの耐震補強工事にともなう営業休止の影響（△78億円）や天候不良の影響などがあったものの運輸収入は増加し、既存ホテルはRevPARが上昇し、MICEも好調に推移。東京ガーデンテラス紀尾井町の開業効果やハワイの不動産売却も寄与し、増収。

▶ 3ページ

### ■ 営業利益

ホテルの耐震補強工事にともなう営業休止の影響及び東京ガーデンテラス紀尾井町開業にかかる一過性費用や減価償却費の計上、フリーレント等の要因により減益。

▶ 4ページ

### <西武鉄道・鉄道業>

運輸収入 前年同期比+0.8%（定期+1.6%、定期外+0.1%）

▶ 10ページ

### <ホテル業>

RevPAR 11,228円（前年同期比+3.8%）  
シティ 12,168円（同+3.2%）、リゾート 9,449円（同+6.1%）

▶ 12ページ

### ■ 経常利益

NWコーポレーション（当期より持分法を適用）にかかる持分法による投資利益の計上（一過性の要因）などにより、営業利益と比較して減益額は縮小。

▶ 21ページ

### ■ 親会社株主に帰属する四半期純利益

上記要因に加え、前期に安比奈車両基地整備計画の廃止決定にともなう減損損失の計上があったことや、当期に固定資産売却益の計上、プリンスホテルにおいて繰延税金資産を計上したことで法人税等調整額が減少したことなどにより、前年同期比+214億円。

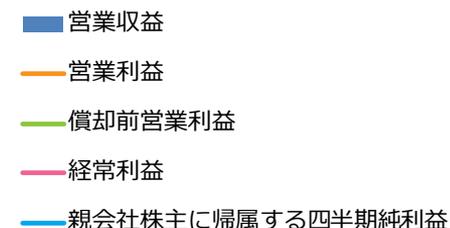
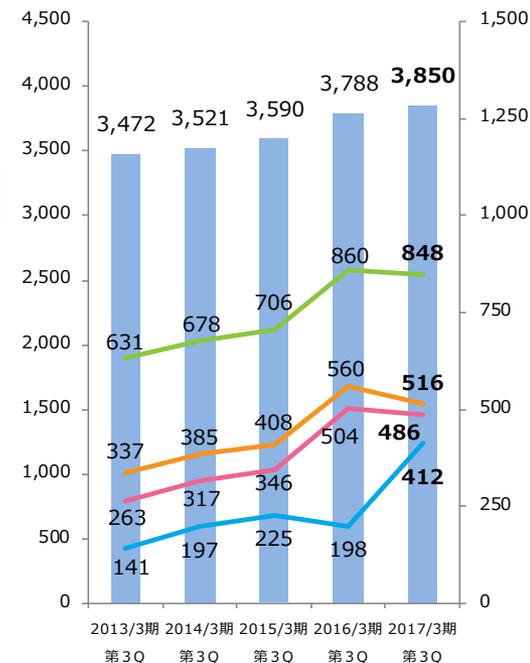
### ■ 業績予想

2017年3月期（通期）の連結業績予想を修正しております。

▶ 25ページ

## 業績の推移

(金額単位：億円)



# セグメント別営業収益

(金額単位：億円)

	2016/3期 3Q実績	2017/3期 3Q実績	対前年同期 (増減額・率)		摘要
都市交通・沿線事業	1,176	1,171	△ 4	△ 0.4%	鉄道業において雇用情勢の堅調な推移や沿線での積極的なイベント活動などにより運輸収入が好調に推移したものの、沿線レジャー業で一部事業所の営業休止及び夏季プール営業の不調や、バス業で前年同期に計上したバス共通カード未使用分受入額の反動減などにより減収。
ホテル・レジャー事業	1,427	1,421	△ 6	△ 0.5%	ザ・プリンスギャラリー 東京紀尾井町の開業や既存ホテルのRevPARの上昇のほか、MICEの好調な推移などによる増収があったものの、東京プリンスホテル・グランドプリンスホテル高輪の耐震補強工事にともなう営業休止の影響（△78億円）があり減収。
不動産事業	376	398	+21	+5.8%	東京ガーデンテラス紀尾井町や既存の商業施設・オフィス・レジデンスがそれぞれ好調に推移したことなどにより増収。
建設事業	688	768	+79	+11.6%	土木工事やリノベーション工事、造園請負工事の増加などにより増収。
ハワイ事業	130	191	+60	+46.5%	ハワイ島において不動産の一部を売却したことや、マウナケアビーチホテル・ハバナビーチプリンスホテルが好調に推移したことにより増収。
その他	301	302	+0	+0.2%	西武ライオンズの観客動員数が増加したことなどにより増収。
調整額	△ 313	△ 403	△ 90	—	主にグループ内工事の増加
<b>連結数値</b>	<b>3,788</b>	<b>3,850</b>	<b>+61</b>	<b>+1.6%</b>	

# セグメント別営業利益・償却前営業利益

## ■ 営業利益

(金額単位：億円)

	2016/3期 第3Q実績	2017/3期 第3Q実績	対前年同期 (増減額・率)		摘要
都市交通・沿線事業	228	227	△ 1	△ 0.6%	減収による減益があったものの、鉄道業において電気動力費が減少したことなどにより前年同期比横ばい。
ホテル・レジャー事業	174	122	△ 52	△ 30.0%	ホテルの耐震補強工事にともなう営業休止の影響のほか、ザ・プリンスギャラリー 東京紀尾井町の開業経費の計上や退職給付費用が増加したことにより減益。
不動産事業	120	62	△ 58	△ 48.5%	増収による増益があったものの、東京ガーデンテラス紀尾井町の開業にかかる一時的な費用や減価償却費の計上、フリーレント等の要因により減益。
建設事業	14	46	+ 32	+ 230.5%	増収による増益に加え、工事利益率の改善により増益。
ハワイ事業	△ 8	49	+ 58	—	増収による増益。
その他	20	16	△ 3	△ 18.4%	西武ライオンズにおいてファン層の拡大にかかる経費が増大したことにより減益。
調整額	11	△ 7	△ 19	—	
<b>連結数値</b>	<b>560</b>	<b>516</b>	<b>△ 44</b>	<b>△ 7.9%</b>	

## ■ 償却前営業利益

(金額単位：億円)

	2016/3期 第3Q実績	2017/3期 第3Q実績	対前年同期 (増減額・率)		摘要
都市交通・沿線事業	381	378	△ 2	△ 0.8%	
ホテル・レジャー事業	258	214	△ 44	△ 17.1%	
不動産事業	152	123	△ 29	△ 19.2%	
建設事業	16	49	+ 32	+ 196.8%	
ハワイ事業	6	62	+ 56	+ 859.6%	
その他	38	36	△ 2	△ 7.5%	
調整額	5	△ 15	△ 21	—	
<b>連結数値</b>	<b>860</b>	<b>848</b>	<b>△ 11</b>	<b>△ 1.4%</b>	

I. エグゼクティブ・サマリー	P2
II. 2017年3月期第3四半期までの 主な取り組み	P6
III. セグメント情報及び営業指標	P9
IV. 決算実績詳細	P21
V. 2017年3月期 連結業績予想	P25

# 2017年3月期第3四半期までの主な取り組み

## 全体

- ・一大プロジェクト「東京ガーデンテラス紀尾井町」のグランドオープン
- ・外国人向け会員組織「SEIBU PRINCE CLUB emi」のサービス開始
- ・西武ホールディングスの株主優待制度を拡充
- ・訪日外国人観光客の誘客促進に向けた「2016西武グループメディアFAMツアー」を開催
- ・西武グループ 再就職支援ネットワークの構築などダイバーシティを推進

※FAMツアーとは「familiarization (=慣れ親しんでいただく) ツアー」の略で、現地視察ツアーのこと。



東京ガーデンテラス紀尾井町

## 都市交通・沿線事業

- ・観光電車【西武 旅するレストラン「52席の至福」】の運行開始
- ・特急レッドアロー号の車両内に「SEIBU FREE Wi-Fi」を導入
- ・西武鉄道テレビCM「2016年秋冬・とびら編」放映開始
- ・「秩父祭の屋台行事と神楽」「川越氷川祭の山車行事」のユネスコ無形文化遺産登録を記念し、ラッピング特急電車「プラチナ・エクスプレス」を運行
- ・「SEIBU HALLOWEEN 2016」の開催に伴い、ラッピング電車「ワタナベナオミトレイン」を運行
- ・新型通勤車両「40000系」にて座席指定制直通列車「S-TRAIN」を導入（2017年3月25日運行開始予定）
- ・秩父エリアの魅力向上のため、「西武秩父駅前温泉 祭の湯」開業に向けた工事（2017年春開業予定）および西武秩父駅のリニューアル工事を実施（2017年3月竣工予定）
- ・西武バス「学トク定期券」のI C化



新型通勤車両「40000系」



西武秩父駅前温泉 祭の湯  
イメージ

# 2017年3月期第3四半期までの主な取り組み

## ホテル・レジャー事業

- ・「ザ・プリンス ギャラリー東京紀尾井町」オープン
- ・「グランドプリンスホテル高輪」リニューアルオープンなど、高輪・品川エリアの各ホテルのバリューアップ投資を推進
- ・「ザ・プリンス パークタワー東京」プレミアムクラブフロアをリニューアル
- ・「東京プリンスホテル」でリニューアル工事を実施（2017年4月1日リニューアルオープン予定）
- ・「大磯プリンスホテル」「サンシャインシティプリンスホテル」「グランドプリンスホテル京都」「びわ湖大津プリンスホテル」でリニューアル工事を実施
- ・海外営業拠点となる「ニューヨークオフィス」「シドニーオフィス」を開業
- ・横浜八景島が台湾桃園市で日本企業初となる海外水族館事業に着手（2020年1月開業予定）



ザ・プリンスギャラリー東京紀尾井町



グランドプリンスホテル高輪

## 不動産事業

- ・東京ガーデンテラス紀尾井町において、オフィス、商業施設「紀尾井テラス」、住宅棟「紀尾井レジデンス」オープン
- ・駅ナカ商業施設「エミオ田無」リニューアルオープン
- ・下落合駅構内、駅ナカ商業施設「エミオ練馬高野台」に「オープン型宅配便ロッカー」を設置
- ・「軽井沢・プリンスショッピングプラザ」で店舗独立型免税手続きサービスを開始
- ・西武新宿駅の高架下商業施設「アメリカン・ブルバード」が「Brick.St」としてリニューアルオープン
- ・「所沢駅東口駅ビル計画」起工式を実施（第Ⅰ期：2018年春開業予定）
- ・駅チカ賃貸住宅「（仮称）エミリブ鷺ノ宮」の工事着手（2018年春開業予定）



所沢駅東口駅ビル計画  
改札前イメージ

## ハワイ事業

- ・ハプナビーチプリンスホテルの不動産の一部を売却
- ・ハワイプリンスホテルワイキキの全面リニューアルおよび名称変更（プリンスワイキキ）などのリブランド（2017年春リニューアルオープン予定）

I. エグゼクティブ・サマリー	P2
II. 2017年3月期第3四半期までの 主な取り組み	P6
III. セグメント情報及び営業指標	P9
IV. 決算実績詳細	P21
V. 2017年3月期 連結業績予想	P25

# 都市交通・沿線事業 概況

(金額単位：百万円)

	2016/3期 第3Q	2017/3期 第3Q	対前年同期 (増減額・率)		摘要
営業収益	117,665	117,185	△ 480	△ 0.4%	
鉄道業	77,836	78,315	+ 479	+ 0.6%	雇用情勢の堅調な推移や沿線での積極的なイベント活動などにより運輸収入が好調に推移し増収。
バス業	19,472	19,369	△ 102	△ 0.5%	路線バスは好調に推移したものの、前年同期に計上したバス共通カード未使用分受入額の反動減により減収。
沿線レジャー業	16,515	15,688	△ 826	△ 5.0%	一部事業所の営業休止及び夏季プール営業の不調により減収。
その他	3,841	3,812	△ 29	△ 0.8%	
営業利益	22,846	22,705	△ 140	△ 0.6%	減収による減益。
償却前営業利益	38,166	37,872	△ 294	△ 0.8%	

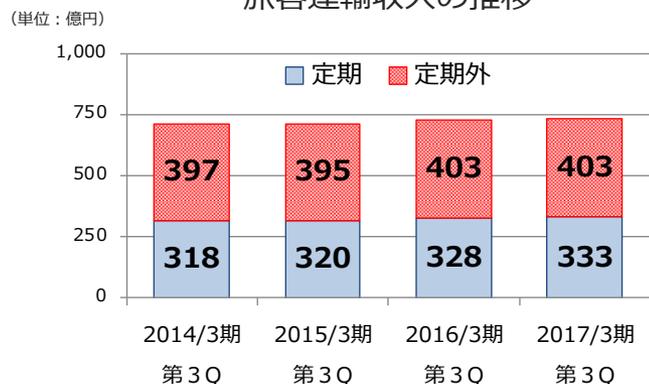
# 都市交通・沿線事業 鉄道業の運輸成績

## 輸送人員・旅客運輸収入（西武鉄道株式会社）

（人員単位：千人、金額単位：百万円）

	2014/3期 第3Q	2015/3期 第3Q	対前年同期 増減率	2016/3期 第3Q	対前年同期 増減率	2017/3期 第3Q	対前年同期 増減率
輸送人員	定期	292,374	+0.9%	302,825	+2.7%	307,539	+1.6%
	定期外	181,178	△ 0.8%	183,499	+2.1%	183,513	+0.0%
	計	473,552	+0.2%	486,324	+2.5%	491,053	+1.0%
旅客運輸 収入	定期	31,858	+0.4%	32,838	+2.6%	33,348	+1.6%
	定期外	39,710	△ 0.4%	40,300	+1.9%	40,343	+0.1%
	計	71,568	△ 0.0%	73,139	+2.2%	73,692	+0.8%
運輸雑収	3,114	3,062	△ 1.7%	3,109	+1.5%	2,987	△ 3.9%
収入合計	74,683	74,618	△ 0.1%	76,248	+2.2%	76,680	+0.6%

旅客運輸収入の推移



### ■ 定期

雇用情勢の堅調な推移により、前年同期比+1.6%。

### ■ 定期外

台風など天候不良の影響を受けたものの、沿線での積極的なイベント活動や特急料金の見直しを実施し前年同期比+0.1%。

# ホテル・レジャー事業 概況

(金額単位：百万円)

	2016/3期 第3Q	2017/3期 第3Q	対前年同期 (増減額・率)		摘要
営業収益	142,793	142,145	△ 648	△ 0.5%	
ホテル業 (シティ)	81,733	79,735	△ 1,998	△ 2.4%	ザ・プリンスギャラリー 東京紀尾井町の開業や既存ホテルのRevPARの上昇のほか、MICEの好調な推移などによる増収があったものの、東京プリンスホテル・グランドプリンスホテル高輪の耐震補強工事にともなう営業休止の影響(△78億円)により減収。
ホテル業 (リゾート)	28,904	29,104	+200	+0.7%	函館大沼や箱根エリアなど、前期にバリューアップ投資を実施したホテルを中心にRevPARが上昇し増収。
ゴルフ場業	10,584	10,606	+21	+0.2%	
その他	21,571	22,698	+1,127	+5.2%	2015年7月のアクアパーク品川のリニューアルなどにより増収。
営業利益	17,432	12,209	△ 5,222	△ 30.0%	ホテルの耐震補強工事にともなう営業休止の影響のほか、ザ・プリンスギャラリー 東京紀尾井町の開業経費の計上や退職給付費用が増加したことにより減益。
償却前営業利益	25,893	21,478	△ 4,415	△ 17.1%	

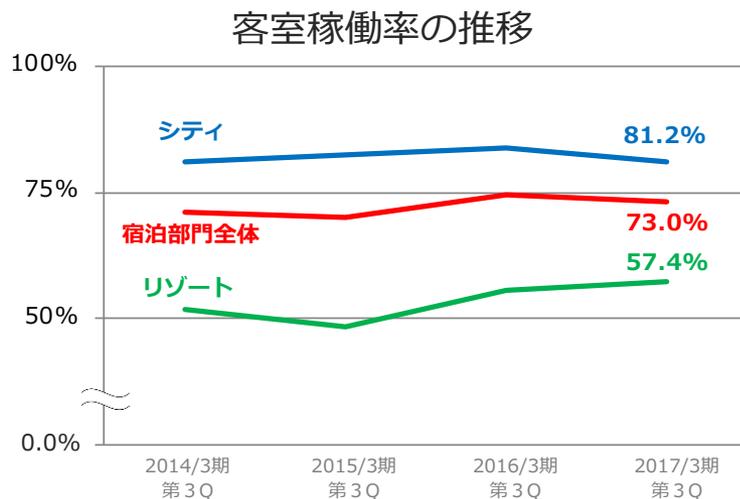
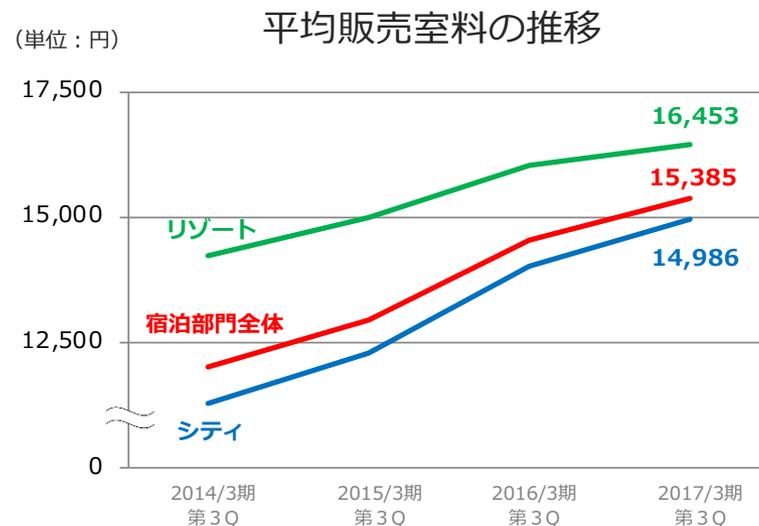
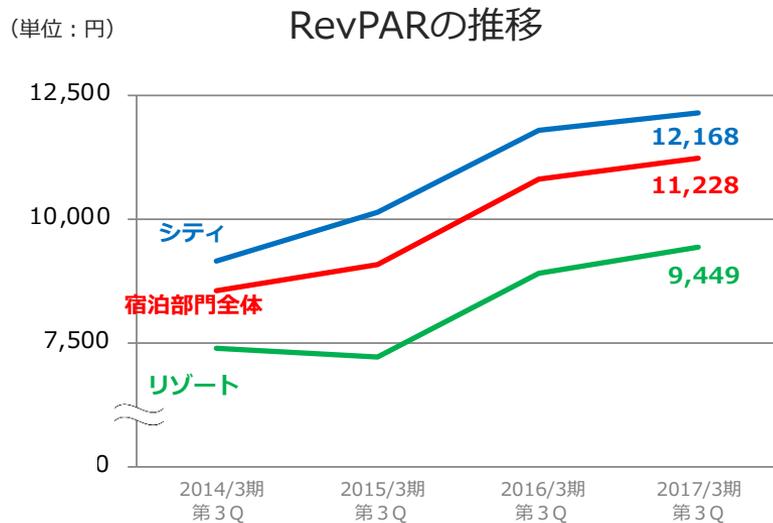
# ホテル・レジャー事業 営業指標の推移

## ホテル業の営業指標（株式会社プリンスホテル）

（RevPAR・平均販売室料：円）

		2014/3期	2015/3期	対前年同期	2016/3期	対前年同期	2017/3期	対前年同期
		第3Q	第3Q		第3Q		第3Q	
RevPAR	シティ	9,168	10,144	+976	11,788	+1,644	12,168	+381
	高輪・品川エリア	9,397	10,558	+1,162	12,522	+1,963	13,073	+551
	リゾート	7,382	7,229	△154	8,910	+1,681	9,449	+539
	軽井沢エリア	14,976	17,472	+2,496	19,896	+2,423	19,848	△48
	宿泊部門全体	8,556	9,090	+535	10,817	+1,727	11,228	+411
平均販売室料	シティ	11,303	12,307	+1,003	14,039	+1,732	14,986	+947
	高輪・品川エリア	10,995	12,286	+1,291	14,306	+2,020	14,929	+622
	リゾート	14,234	14,990	+756	16,062	+1,072	16,453	+391
	軽井沢エリア	29,021	31,757	+2,736	32,191	+434	31,476	△715
	宿泊部門全体	12,037	12,974	+937	14,548	+1,574	15,385	+837
客室稼働率	シティ	81.1%	82.4%	+1.3pt	84.0%	+1.5pt	81.2%	△2.8pt
	高輪・品川エリア	85.5%	85.9%	+0.5pt	87.5%	+1.6pt	87.6%	+0.0pt
	リゾート	51.9%	48.2%	△3.6pt	55.5%	+7.2pt	57.4%	+2.0pt
	軽井沢エリア	51.6%	55.0%	+3.4pt	61.8%	+6.8pt	63.1%	+1.3pt
	宿泊部門全体	71.1%	70.1%	△1.0pt	74.4%	+4.3pt	73.0%	△1.4pt

# ホテル・レジャー事業 営業指標の推移



高単価な客層へのマーケットチェンジをはかったことにより平均販売室料が上昇し、RevPARが上昇。

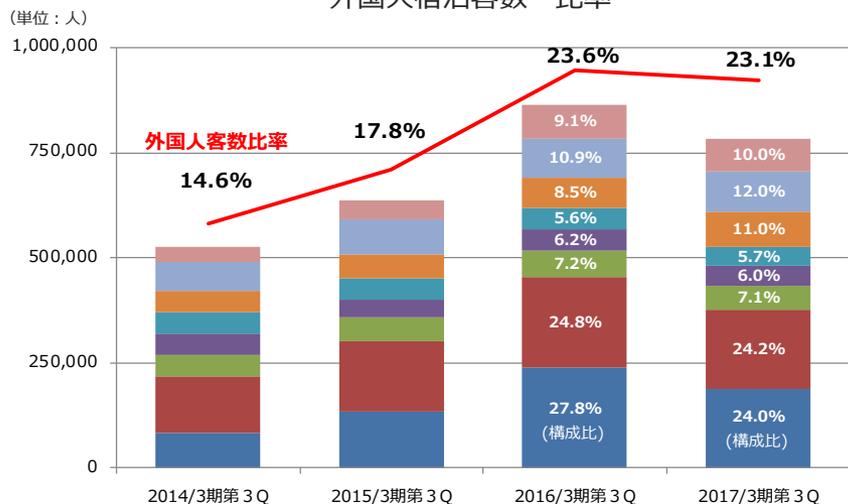
# ホテル・レジャー事業 インバウンドの動向①

## (宿泊客数・室料収入)

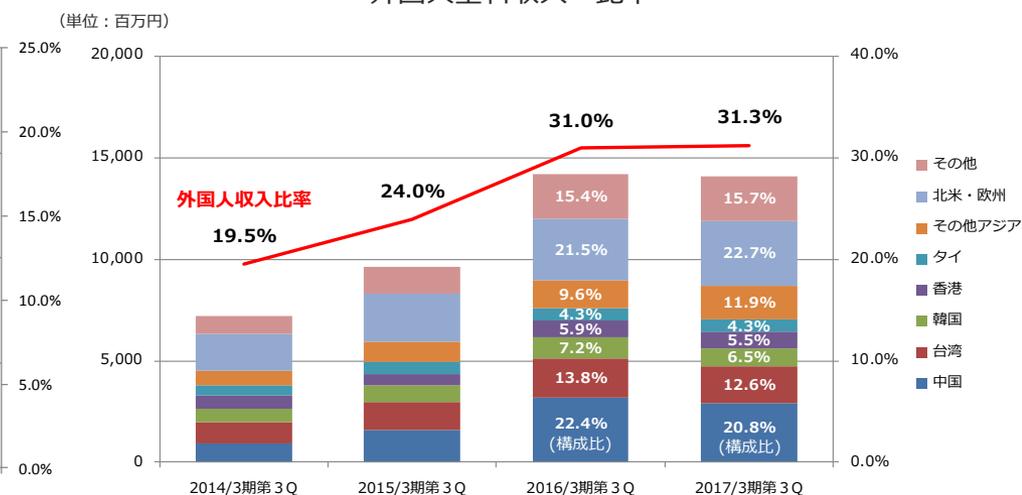
(人員単位：人、金額単位：百万円)

	2014/3期 第3Q	2015/3期 第3Q	対前年同期	2016/3期 第3Q	対前年同期	2017/3期 第3Q	対前年同期
邦人客	3,089,030	2,949,992	△ 139,038	2,787,780	△ 162,212	2,608,091	△ 179,689
宿泊客の内訳 外国人客	526,619	637,394	+ 110,775	863,253	+ 225,859	783,573	△ 79,680
計	3,615,649	3,587,386	△ 28,263	3,651,033	+ 63,647	3,391,664	△ 259,369
室料収入 外国人客	7,196	9,627	+ 2,430	14,188	+ 4,561	14,111	△ 76

外国人宿泊客数・比率



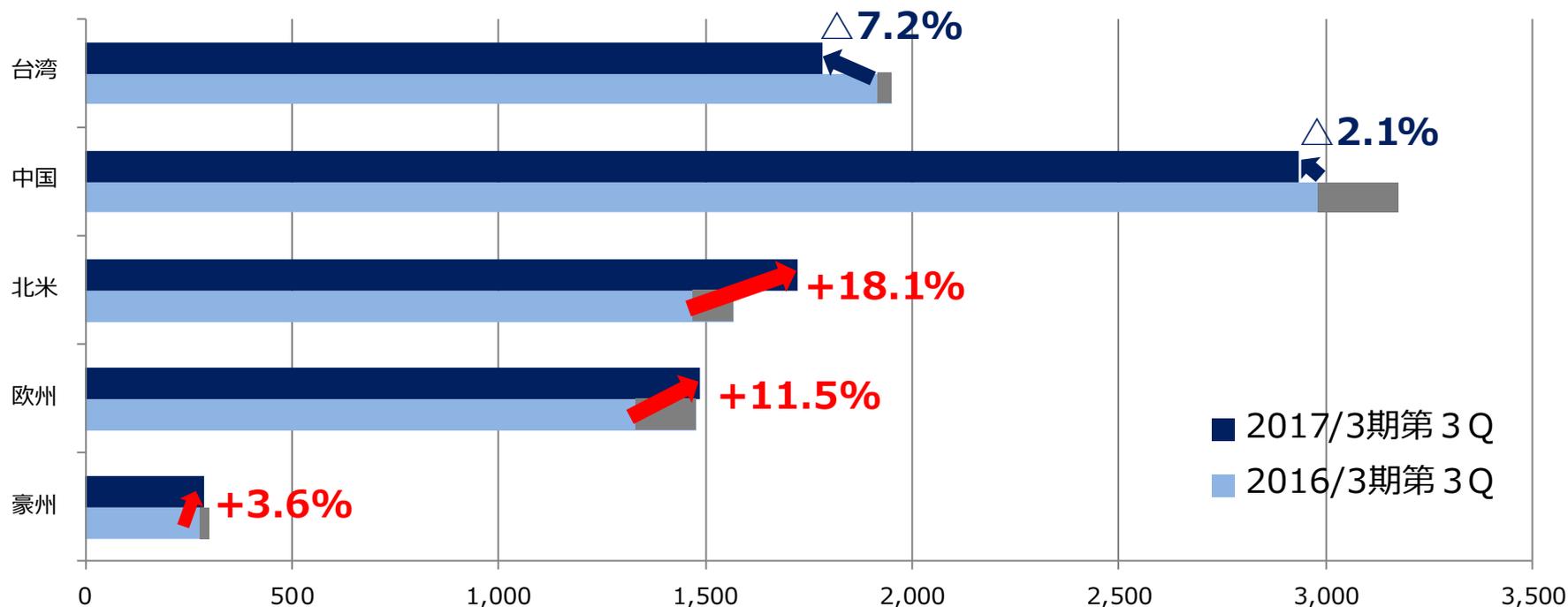
外国人室料収入・比率



## ホテル・レジャー事業 インバウンドの動向② (主な国・地域の外国人室料収入)

マーケットチェンジの一例として、室料収入ベース\*で台湾( $\Delta 7.2\%$ )、中国( $\Delta 2.1\%$ )などアジアは減少する一方、**北米(+18.1%)**、**欧州(+11.5%)**、**豪州(+3.6%)**など、**より単価の高い地域が着実に増加**

主な国・地域の外国人室料収入\*



※耐震補強工事にともなう営業休止の影響(グラフ内の■)を除いたベース

(単位: 百万円)

# 不動産事業 概況

(金額単位：百万円)

	2016/3期 第3Q	2017/3期 第3Q	対前年同期 (増減額・率)		摘要
営業収益	37,681	39,854	+2,172	+5.8%	
不動産賃貸業	23,731	26,289	+2,557	+10.8%	東京ガーデンテラス紀尾井町や既存の商業施設・オフィス・レジデンスがそれぞれ好調に推移したことなどにより増収。
その他	13,950	13,564	△385	△2.8%	
営業利益	12,093	6,232	△5,860	△48.5%	増収による増益があったものの、東京ガーデンテラス紀尾井町の開業にかかる一時的な費用や減価償却費の計上、フリーレント等の要因により減益。
償却前営業利益	15,249	12,322	△2,927	△19.2%	

(面積：千㎡)

		2014/3期 第3Q	2015/3期 第3Q	対前年同期	2016/3期 第3Q	対前年同期	2017/3期 第3Q	対前年同期
建物賃貸物件	商業施設	213	228	+14	233	+5	237	+3
の期末貸付面積	オフィス・住宅	59	57	△1	59	+1	161	+102
建物賃貸物件	商業施設	0.9%	1.1%	+0.2pt	1.2%	+0.1pt	0.7%	△0.5pt
の期末空室率	オフィス・住宅	8.3%	6.6%	△1.7pt	15.5%	+8.9pt	2.3%	△13.2pt

# 建設事業 概況

(金額単位：百万円)

	2016/3期 第3Q	2017/3期 第3Q	対前年同期 (増減額・率)		摘要
営業収益	68,853	76,846	+7,993	+11.6%	
建設業	50,729	57,198	+6,469	+12.8%	土木工事やリノベーション工事の増加などにより増収。
その他	18,124	19,648	+1,524	+8.4%	造園請負工事の増加などにより増収。
営業利益	1,400	4,627	+3,227	+230.5%	増収による増益に加え、工事利益率の改善により増益。
償却前営業利益	1,651	4,901	+3,250	+196.8%	

## 建設業の受注高の状況

(金額単位：百万円)

	2014/3期 第3Q	2015/3期 第3Q	対前年同期	2016/3期 第3Q	対前年同期	2017/3期 第3Q	対前年同期
期首繰越高	58,012	62,320	+4,309	84,335	+22,014	99,069	+14,733
期中受注高	56,809	63,926	+7,118	56,172	△7,754	57,690	+1,518
期末繰越高	71,253	77,613	+6,360	89,913	+12,300	99,685	+9,772

# ハワイ事業 概況

(金額単位：百万円)

	2016/3期 第3Q	2017/3期 第3Q	対前年同期 (増減額・率)		摘要
営業収益	13,070	19,144	+6,074	+46.5%	ハワイ島において不動産の一部を売却したことや、マウナケアビーチホテル・ハプナビーチプリンスホテルが好調に推移したことにより増収。
営業利益	△ 896	4,935	+5,831	-	増収による増益。
償却前営業利益	654	6,276	+5,622	+859.6%	

## ホテルの客室稼働率、平均販売室料

	2014/3期 第3Q	2015/3期 第3Q	対前年同期	2016/3期 第3Q	対前年同期	2017/3期 第3Q	対前年同期
客室稼働率	72.0%	72.3%	+0.3pt	74.4%	+2.1pt	70.4%	△ 4.0pt
平均販売室料 (円)	19,351	23,354	+4,003	28,612	+5,258	27,149	△ 1,463
平均販売室料 (米ドル)	222.42	228.96	+6.54	238.83	+9.87	246.81	+7.98

## その他 概況

(金額単位：百万円)

	2016/3期 第3Q	2017/3期 第3Q	対前年同期 (増減額・率)		摘要
営業収益	30,167	30,239	+71	+0.2%	西武ライオンズの観客動員数が増加したことなどにより増収。
営業利益	2,039	1,664	△374	△18.4%	西武ライオンズにおいてファン層の拡大にかかる経費が増大したことにより減益。
償却前営業利益	3,894	3,601	△292	△7.5%	

I. エグゼクティブ・サマリー	P2
II. 2017年3月期第3四半期までの 主な取り組み	P6
III. セグメント情報及び営業指標	P9
<b>IV. 決算実績詳細</b>	<b>P21</b>
V. 2017年3月期 連結業績予想	P25

# 連結損益計算書サマリー

(金額単位：百万円)

	2016/3期 第3Q	2017/3期 第3Q	対前年同期	摘要
営業収益	378,862	385,041	+6,179	都市交通・沿線：△4億円、ホテル・レジャー：△6億円 不動産：+21億円、建設：+79億円、ハワイ：+60億円、 その他：+0億円
営業利益	56,055	51,601	△4,453	都市交通・沿線：△1億円、ホテル・レジャー：△52億円 不動産：△58億円、建設：+32億円、ハワイ：+58億円、 その他：△3億円
営業外収益	2,009	5,913	+3,904	持分法による投資利益 +36億円 (22ページを参照)
営業外費用	7,603	8,819	+1,216	支払利息 +8億円
経常利益	50,461	48,695	△1,765	
特別利益	1,781	4,488	+2,707	固定資産売却益 +30億円
特別損失	18,972	2,489	△16,483	前期：減損損失 128億円
税金等調整前四半期純利益	33,270	50,695	+17,424	
法人税等	13,299	9,323	△3,976	法人税、住民税及び事業税 △9億円 法人税等調整額 △30億円 (プリンスホテルにおける繰延税金資産の計上 △30億円)
四半期純利益	19,971	41,371	+21,400	
非支配株主に帰属する四半期純利益	103	91	△11	
親会社株主に帰属する四半期純利益	19,867	41,279	+21,412	

# 営業外・特別損益

(金額単位：百万円)

	2016/3期 第3Q	2017/3期 第3Q	対前年同期	摘要
営業利益	56,055	51,601	△ 4,453	
営業外収益	2,009	5,913	+3,904	
受取利息・配当金	649	705	+56	
バス路線運行維持費補助金	344	342	△ 1	
持分法による投資利益	31	3,728	+3,697	当期よりNWコーポレーションが持分法適用関連会社となったことに伴う計上（一過性の要因）
その他営業外収益	985	1,136	+151	
営業外費用	7,603	8,819	+1,216	
支払利息	7,152	8,002	+850	
その他営業外費用	450	816	+366	
経常利益	50,461	48,695	△ 1,765	
特別利益	1,781	4,488	+2,707	
固定資産売却益	312	3,394	+3,082	当期：土地売却（新杉田）
工事負担金等受入額	988	18	△ 970	
補助金収入	99	316	+217	
投資有価証券売却益	105	0	△ 105	
その他特別利益	275	757	+482	
特別損失	18,972	2,489	△ 16,483	
減損損失	12,870	41	△ 12,829	前期：安比奈車両基地整備計画の廃止決定に伴う減損損失 126億円
固定資産売却損	111	9	△ 102	
固定資産除却損	1,032	1,536	+504	
工事負担金等圧縮額	976	18	△ 958	
固定資産圧縮損	80	296	+215	
投資有価証券売却損	4	—	△ 4	
投資有価証券評価損	0	0	+0	
その他特別損失	3,895	586	△ 3,309	前期：判決確定に伴う訴訟関連費用の計上
税金等調整前四半期純利益	33,270	50,695	+17,424	

# 連結貸借対照表サマリー

(金額単位：百万円)

	2016/3期 期末	2017/3期 第3Q末	対前期	摘要
資産 合計	1,553,092	1,588,518	+ 35,425	
流動資産	136,813	116,389	△ 20,424	受取手形及び売掛金 △4,634 その他 △20,619 (求償債権回収など) 現金及び預金 +3,063
固定資産	1,416,278	1,472,129	+ 55,850	有形・無形固定資産 +54,014
負債 合計	1,160,443	1,223,502	+ 63,059	
流動負債	317,855	337,476	+ 19,621	短期借入金の増加 +21,233 その他 +7,216 (東京ガーデンテラス紀尾井町新築工事代など) 支払手形及び買掛金 △7,340
固定負債	842,587	886,025	+ 43,437	長期借入金の増加 +26,001 持分法適用に伴う負債 +17,271 (NWコーポレーション持分法適用)
純資産 合計	392,649	365,016	△ 27,633	自己株式 △52,524 (NWコーポレーションが保有する当社株式の当社グループ持分相当分を自己株式に計上) 為替換算調整勘定 △9,359 利益剰余金 +34,885
有利子負債 期末残高	843,745	888,326	+ 44,581	
ネット有利子負債	821,328	862,846	+ 41,518	東京ガーデンテラス紀尾井町新築工事代の支払の増加など

I. エグゼクティブ・サマリー	P2
II. 2017年3月期第3四半期までの 主な取り組み	P6
III. セグメント情報及び営業指標	P9
IV. 決算実績詳細	P21
V. 2017年3月期 連結業績予想	P25

## 2017年3月期 連結業績予想

(金額単位：億円)	2017/3期 通期予想	2017/3期 11月予想	対11月予想 増減率	2016/3期 実績	対前期 増減率
営業収益	5,126	5,171	△0.9%	5,080	+0.9%
営業利益	563	541	+4.1%	659	△14.6%
償却前営業利益	1,027	1,005	+2.2%	1,067	△3.7%
経常利益	513	485	+5.8%	585	△12.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	420	370	+13.5%	572	△26.6%

(注) 金額は記載単位未満を切り捨てており、諸比率は四捨五入によって表示しております。

第3四半期連結累計期間までの業績等を踏まえ、  
2016年11月9日に公表いたしました**通期の連結業績予想を変更**しております。

- **営業収益** 5,126億円  
ホテル・レジヤ事業における宿泊部門の予約状況などを反映し、前回予想から45億円下方修正。
- **営業利益** 563億円  
減収も、各種コストの減少などにより、前回予想から22億円上方修正。
- **経常利益** 513億円 (前回予想から28億円上方修正)
- **親会社株主に帰属する当期純利益**  
420億円 (前回予想から50億円上方修正)

(注) 連結業績予想につきましては、発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

# 2017年3月期 連結業績予想

## セグメント別 営業収益

	2017/3期 通期予想	2017/3期 11月予想	対11月予想 増減率	2016/3期 実績	対前期 増減率
都市交通・沿線事業	1,566	1,566	-	1,573	△0.5%
ホテル・レジャー事業	1,874	1,888	△0.7%	1,880	△0.3%
不動産事業	541	541	-	496	+8.9%
建設事業	1,141	1,122	+1.7%	1,049	+8.7%
ハワイ事業	231	232	△0.4%	193	+19.7%
その他	370	371	△0.3%	375	△1.4%
調整額	△ 597	△ 549	-	△ 488	-

(金額単位：億円)

## セグメント別 営業利益

	2017/3期 通期予想	2017/3期 11月予想	対11月予想 増減率	2016/3期 実績	対前期 増減率
都市交通・沿線事業	262	261	+0.4%	258	+1.2%
ホテル・レジャー事業	130	130	-	206	△37.0%
不動産事業	70	65	+7.7%	145	△51.8%
建設事業	62	45	+37.8%	36	+67.8%
ハワイ事業	43	35	+22.9%	△ 8	-
その他	4	5	△20.0%	10	△63.1%
調整額	△ 8	-	-	9	-

## セグメント別 償却前営業利益

	2017/3期 通期予想	2017/3期 11月予想	対11月予想 増減率	2016/3期 実績	対前期 増減率
都市交通・沿線事業	471	470	+0.2%	467	+0.8%
ホテル・レジャー事業	260	260	-	320	△18.9%
不動産事業	154	148	+4.1%	187	△17.9%
建設事業	66	49	+34.7%	40	+63.0%
ハワイ事業	60	56	+7.1%	12	+386.6%
その他	31	32	△3.1%	36	△16.0%
調整額	△ 15	△ 10	-	1	-

(注) 金額は記載単位未満を切り捨てており、諸比率は四捨五入によって表示しております。